



弓削高等学校

<https://ehm-yuge-h.esnet.ed.jp/>

体操服を新調!
爽やかな弓削高生!

体操服をマイナーチェンジ!
今年度入学した1年生から体育時に着用する体操服が変わりました。



通気性や機能性に優れ、運動に適したものになっています。新たな体操服とともに、生徒たちは活気のある体育の授業を行っています。

高校総体地区予選開催!

高校総体の地区予選が各種目で開催されました。ソフトテニ

ス・バドミントン・卓球競技に参加し、選手たちは日ごろの練習の成果を発揮していました。



(ソフトテニス部の様子)



(バドミントン部の様子)



(卓球部の様子)

各部活動とも、県総体出場を目指し、精一杯取り組みました。これからも応援をお願いいたします!

島親募集!

チームで休日に食事等の面倒を見ていただける皆さまを募集します
連絡先 ☎ 77-2021

弓削高校 教頭 正岡



弓削商船高等専門学校

<https://www.yuge.ac.jp/>

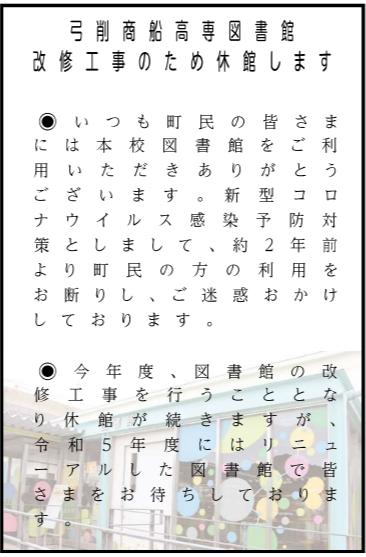
上島町での学校生活が始まります

令和4年度入学式を挙行
4月6日(水)入学式を挙行し、本科生128名、留学生1名、専攻科生13名の計142名の学生が入学しました。



今年度も昨年度と同様に入学生、在校生総代、保護者および教職員のみの出席とし、感染予防対策をとった上で式典を挙行しました。式ではまず、入学許可が行われ、本科入学生および専攻科入学生による入学宣誓がありました。その後、石田校長から「日々の学校生活において、寮生活もさることながら、課外

が寮で共同生活を送っています。寮では、時間差での入浴、食堂にパーテーションパネルの設置、外泊後4日間は町内に出ない行動制限など、新型コロナウイルス感染対策に気を付けて過ごしています。



本校の学生は北海道や関東、九州からなど、7割を超える学生

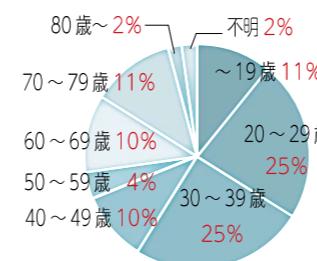
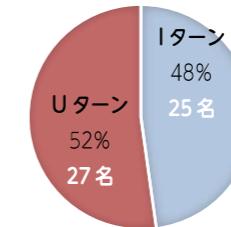
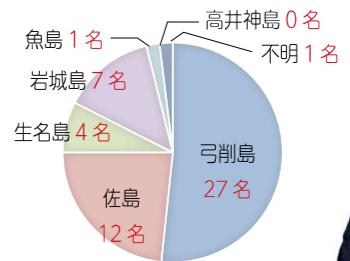
島おこし協力隊活動報告

【令和3年度移住者数報告】

島おこし協力隊二年目を迎えた移住定住・空き家空き地バンク担当の中山です。3月のニュースになりますが、総務省は約700ある全国の過疎市町村のうち94市町村が、転入者が転出者を上回る「転入超過」だったとの集計を公表しました。愛媛県内においては、上島町と鬼北町が転入超過となり、上島町は転入者が転出者を16人上回りました。私にとって、とても嬉しいニュースでした。普段、移住定住や空き家バンクに関する仕事をしていると、よく地域の方々に「上島町に住みたい人なんているの?」「そんなに

引っ越してきてるの?」といわれます。そこで今回、令和3年度の上島町の移住者状況をご報告したいと思います。町民の皆さんに数字で分かりやすく現状を把握してもらい、このデータを活用して、一人ひとりが過疎化が著しく進む上島町の将来を想像してもらい、未来のためにできることを考えていただけたらなによります。

まずは、令和3年一年間の合計移住者数ですが、52名が転勤・進学ではない理由で上島町内に転入されました。年代別に見ると図1のようになっており、20代、30代が半分を占め

令和3年度 年代別移住者割合
【図1】I·U ターン者数・割合
【図2】令和3年度 地域別移住者数
【図3】

島おこし協力隊 中山 なぎ

島おこし協力隊活動報告(公営塾)

「新任講師よりご挨拶」

上島町のみなさま、はじめまして! 今年度ゆめしま未来塾の講師に着任いたしました大西健太郎と申します。松山市で生まれ育ち、大学進学を機に東京で暮らしておりましたが、地元である愛媛県で教育に携わりたいと思い、上島町に参りました。この美しい町で社会人としてのキャリアをスタートできることに、喜びを感じております。塾生が希望する進路は十人十色ですが、それぞれが希望する進路を実現できるよう、そして充実した高校生活を送れるよう、私も微力ながらサポートできればと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。また、昨年度より上島町島おこし協力隊

(移住・定住支援、空き家問題担当)として活動中の中山なぎ隊員も、兼任という形で公営塾のメンバーに加わってくれることになりました。海外経験が豊富で英語に堪能でいらっしゃるので、塾生の英語力向上にも期待が持たれます。

さて、本稿執筆時点(4月末)での弓削高校の様子はといいますと、年度始めの慌ただしさもようやく収まりを見せ、生徒たちは各学年の新生活に慣れてきたように見受けられます。また、ゆめしま未来塾にも、入塾希望の新1年生が続々と顔を覗かせてくれていますが、中には公営塾の存在が弓削高校進学のきっかけになったといいう生徒もあり、これまでの講師陣

が築き上げてこられた成果を実感するとともに、私もそのバトンをしっかりと引き継ぎ、そのような生徒の期待に応えていかなければと、身の引き締まる思いがいたします。

新体制となったゆめしま未来塾を、ぜひ今後ともよろしくお願いいたします!

ゆめしま未来塾
大西 健太郎